



東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円

編集責任
企画・総務局
田口 康 乗

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働者の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

議会議員・区民と行った清掃工場見学会について報告を受けました。

昨年12月に区議が行っている区民集会の中で清掃に関するブースを設け、普段はなかなか区民に伝わりづらい実態を展示し、担当者からの説明などを行っていただきます。そこに訪れた区議の支援者から清掃工場見学の企画について相談され、気軽に学習できる見学会を目指して調整を行い、実施に至りました。

第56年次自治研集會を開催

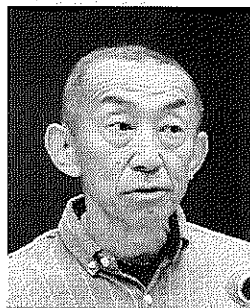
12月1日(日)、連合会館において第56年次自治研集會を開催しました。今回は自治研活動の手法、処理・処分部門の現状、災害復興支援報告、ごみ減量化に向けたパネルディスカッションなどを受け、今後の各区における自治研活動の糧となるような集會となりました。

パネル展示や『ごみの中からこんなもの展』などを行いながら区移管反対闘争と連動した取組として問題点を訴え、ごみに関する相談窓口と同時に反対署名活動も行っていました。

区移管後は清掃事業に特化した集會へと変わり、分別ゲームや清掃車に乗車しての記念撮影など、参加者が楽しみながら学ぶ集會が開催されています。さらに近年は区の制度を利用した清掃事業先進地事例視察、被災地支援活動などをまとめた区民の方に報告し、シンポジウム形式とすることで様々な区民ニーズや意見を引き出しています。

最後に中村さんから、自治研活動における「自由な発想」と「区民との対話」の重要性について話し、経験を活かした考えがまとめとして示されました。

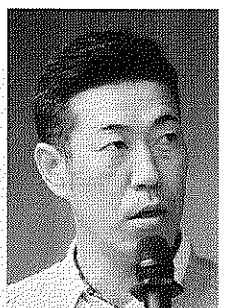
報告していただいた方々



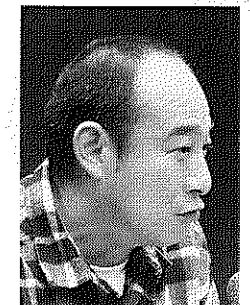
古家一組総支部賃金部長



高橋大田総支部書記長



中村練馬総支部書記次長



鎌野世田谷総支部書記次長



鈴木大田総支部書記次長



結城板橋総支部書記長

第56年次自治研集會

東京清掃労働組合 2019.12.1



倉貫常任中央執行委員の司会で始まり、中里中央執行委員長の主催者あいさつでは多岐に亘って自治研集會につながる話があり、「人材を確保して育てていかなければならない時期に来ていいる」と職務だけではなくあらゆる観点から自治研を通じて取組の重要性を提起しました。その後、西村副中央執行委員長より基調提起を行い、全体で確認して全体集が始まりました。

【練馬区自治研の歩み】
練馬総支部書記次長の中村さんより、清掃事業の区移管前からこれまでの自治研活動について報告を受けました。

【多摩川清掃工場見学会】
大田総支部書記長の高橋さんからは、今年9月に区

議会議員・区民と行った清掃工場見学会について報告を受けました。

昨年12月に区議が行っている区民集会の中で清掃に関するブースを設け、普段はなかなか区民に伝わりづらい実態を展示し、担当者からの説明などを行っていただきます。そこに訪れた区議の支援者から清掃工場見学の企画について相談され、気軽に学習できる見学会を目指して調整を行い、実施に至りました。

【台風15号に伴う災害復興支援活動と課題について】
板橋総支部書記長の結城さんからは、台風15号による千葉県での被害状況や被災視察状況から始まり、館山市で作業した状況などが報告されました。小型プレ

【台風19号に伴う被害について】
大田区の状況について、大田総支部書記次長の鈴木さんより報告を受けました。丸子川の氾濫による浸水被害によって被災ごみが発生しましたが、大田区は仮置

【シンポジウム】
ス車での作業は困難で工夫したこと、有害物質が飛散している可能性がある中で作業、搬入先の受付ごみ種による苦勞など、もちろんのことながら通常の業務とはかけ離れた状況での作業となるので、この経験が自区で被災した際の大きな経験・知識として活かして

【報告①】
最後に中村さんから、自治研活動における「自由な発想」と「区民との対話」の重要性について話し、経験を活かした考えがまとめとして示されました。

【報告②】
大田総支部書記長の高橋さんからは、今年9月に区

議会議員・区民と行った清掃工場見学会について報告を受けました。

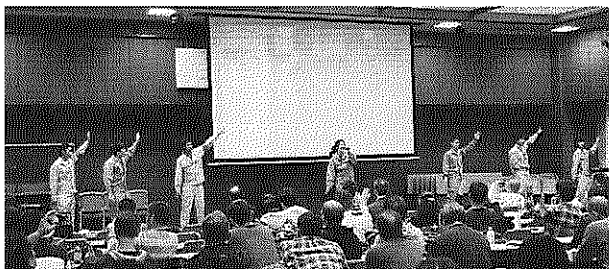
昨年12月に区議が行っている区民集会の中で清掃に関するブースを設け、普段はなかなか区民に伝わりづらい実態を展示し、担当者からの説明などを行っていただきます。そこに訪れた区議の支援者から清掃工場見学の企画について相談され、気軽に学習できる見学会を目指して調整を行い、実施に至りました。

【台風15号に伴う災害復興支援活動と課題について】
板橋総支部書記長の結城さんからは、台風15号による千葉県での被害状況や被災視察状況から始まり、館山市で作業した状況などが報告されました。小型プレ

【シンポジウム】
ス車での作業は困難で工夫したこと、有害物質が飛散している可能性がある中で作業、搬入先の受付ごみ種による苦勞など、もちろんのことながら通常の業務とはかけ離れた状況での作業となるので、この経験が自区で被災した際の大きな経験・知識として活かして

【台風19号に伴う被害について】
大田区の状況について、大田総支部書記次長の鈴木さんより報告を受けました。丸子川の氾濫による浸水被害によって被災ごみが発生しましたが、大田区は仮置

(2面につづく)



Missatoさんと青年部のコラボレーション!

（1面からのつづき）
 き場の設定がされていないので確保が難しく、また機材や人員の手配もままならない中で作業となったそうです。ごみ種を分けての排出方法も周知できなかったため、集積所では可燃・不燃・粗大が混在していて、苦勞して片付けても次の日には同じ状態に戻っている状況です。仮置き場が設定されてからは回収された粗大ごみを一度降ろし、可燃性・不燃性によって改めて別々に積載する作業にふれたい指導班の職員を配置して対応しています。復旧作業を行った中で感じた課題は、便乗ごみへの対応、収集作業を委託している大田区環境公社との連携などが上げられ、また排出時の分別や家屋からの運び出しなどの区民との協働が必要な課題も浮かび上がりました。

世田谷区の状況について
 「川の氾濫で新幹線が水没している報道がありました。各区で清掃車などの機材に対する対応はされているのでしょうか？」と質問が上がると、被災後の対応だけでなく、『防災』が必要であることを改めて会場全体が感じたと思います。

特別コンサート
 『Missato 分別分別』
 シンガーソングライター Missatoさんから『分別分別（ぶんべつぶんべつ）』という曲を歌っていただきました。清掃の作業員が朝からハツラツと働いているところを見て、『人』が収集しているのに当たり前になっていくというところを考えたそう、この曲の作成にあたり取材なども行って認識を深め、新宿支部と連携して動画作成とSNSでの配信をしています。

パネルディスカッション
 『ごみ減量化にむけて』
 東京清掃本部の田口書記次長、一組総支部の内山副委員長、そしてMissatoさんをパネラーとしたパネルディスカッションも行われました。ごみの減量化に向けては身近なことだけではなく、海洋プラスチックにつながるペットボトルを減らすことなども上げられ、シェアリングエコノミーを活用した発生抑制についても話が交わりました。長期的な考え方としてインターネットの活用を取り上げ、「情報はインターネットで調べて紙は必要な分だけ。音楽もインターネットで受け取れる」というごみ減量方法、そして建設される建物についてまで話がおよび、様々な観点から考えていかなければなりません。各区での自治研活動については、きっかけとして

「川」の氾濫で新幹線が水没している報道がありました。各区で清掃車などの機材に対する対応はされているのでしょうか？」と質問が上がると、被災後の対応だけでなく、『防災』が必要であることを改めて会場全体が感じたと思います。

特別コンサート
 『Missato 分別分別』
 シンガーソングライター Missatoさんから『分別分別（ぶんべつぶんべつ）』という曲を歌っていただきました。清掃の作業員が朝からハツラツと働いているところを見て、『人』が収集しているのに当たり前になっていくというところを考えたそう、この曲の作成にあたり取材なども行って認識を深め、新宿支部と連携して動画作成とSNSでの配信をしています。

パネルディスカッション
 『ごみ減量化にむけて』
 東京清掃本部の田口書記次長、一組総支部の内山副委員長、そしてMissatoさんをパネラーとしたパネルディスカッションも行われました。ごみの減量化に向けては身近なことだけではなく、海洋プラスチックにつながるペットボトルを減らすことなども上げられ、シェアリングエコノミーを活用した発生抑制についても話が交わりました。長期的な考え方としてインターネットの活用を取り上げ、「情報はインターネットで調べて紙は必要な分だけ。音楽もインターネットで受け取れる」というごみ減量方法、そして建設される建物についてまで話がおよび、様々な観点から考えていかなければなりません。各区での自治研活動については、きっかけとして

今集会は大きなテーマをいくつも抱えながら組合員に向けた集会にしたことで、多くのことを学んで持ち帰ることができたという意見が寄せられています。とりわけ被災地支援や23区内で被災した実態は、いつ起こるか分からない大規模災害に向けて文字通り自治研究の必要性が提起されたのではないのでしょうか。防災・減災・災害時対応をテーマとした区民との意見交換、清掃工場・埋め立て処分場見学から考えるごみ減量化、そして区民が本来に望む良質な公共サービスとしての清掃事業確立に向けた自治研活動を全区で行えるように取組をつなげていきます。

（萩原 崇氏）

自治労働本部現業評議会

第28回定期総会



吉野現評議長より主催者あいさつ

自治労働本部現業評議会の定期総会が12月3日（火）、自治労働会館にて開催され、東京清掃からは現評常任幹事・代議員として17名が出席しました。第一部とした記念講演では、自治労働本部の小迫現業局長より「現業職場における臨時・非常勤等職員の組織化」というテーマで講演があり、「現在の職場において、正規職員だけで質の高い公共サービスの確立が難しい」という現状を指摘し、今後の活動について意思統一

2020年度都本部現業評議会役員体制

議長	吉野 徹也 (青梅市職)
副議長	倉貫 克志 (東京清掃)
事務局長	島崎 善雄 (渋谷区職労)
事務局次長	廣田 豊 (国分寺市職)

東京全労協第30回定期大会 労働者の生活と権利を勝ち取ろう！

12月7日（土）東京全労協はSKホールにおいて第30回定期大会を開催しました。代議員の活発な討論のなか、1年間の総括と運動方針を確認しました。わが組合からは、役員・幹事を報告および運動方針について提起がされました。質疑討論では4名の代議員から、争議報告や決意表明、取組み要請などの補強的な意見がありました。また、「発言を共有化し取組んでいく」と寺嶋事務局長から一括して答弁がされ、3本の議事は満場の拍手で確認が

されました。今回の役員人事で、わが組合の渡辺常任幹事を退任し、新たに泉田常任幹事となりました。わが組合としても、今定期大会で決定した方針のにも、労働者・市民が報われる社会、反戦・反基地・反原発、平和と民主主義の構築、反動安倍政権と対立する全労協運動に連帯していきましよう！



▲大会は68名の代議員による活発な討論で開催



早いもので今年も残りわずか、年々時間のたつのが早くなり、毎日が充実しているからなのか、年をとったせいなのか、前者でいたいと願っている今日この頃。
 今年を振り返ると全国各地で甚大な自然災害が多く発生し、将来に不安を抱いてしまっています。第56回自治研研究会では、様々な報告を受け早急な災害廃棄物処理計画等を進めていかななくてはならないと感じたところで

ふと2つの悲しいニュースを思い出しました。東日本大震災の際に防災無線で避難を最後まで呼び掛け津波にのまれ亡くなった町職員と、台風19号の襲来に備え避難所を開設するために残業し、帰宅途中で亡くなった南相馬市職員のことでした。最後まで責任感があり確かに立派です。しかし、別の方法はなかったのか。命より大切なものなんて...。そして家族や仲間の悲しみは計り知れません。清掃現場で災害に見舞われたら、自身をどの様に守り助けるのか。防災の基本である「自助」を検討していくことが必要ではないのでしょうか。
 （文京区担当中執 渡辺一彦）